

VI その他事業

主要事業以外で実施された事業について次頁に示す。

河川

リュウキュウアユの生息環境に配慮した川づくり

人々が集い賑わう川づくり(小波津川)

多自然型川づくりから多自然川づくりへ(名蔵川)

都市部の浸水被害軽減と良好な河川環境の創造(安謝川)

河川浄化事業による河川、海域の水質保全(報得川)

国場川水系水に親しむ川づくり河川整備構想の策定(国場川)

自然再生への取り組み(やんばる河川・海岸再生協議会、奥川自然再生協議会)

水源地域ビジョン(ダムを活用した地域づくり)の策定・実施

砂防

砂防施設を有効活用し、下流河川、海域への赤土流出を軽減(平良川砂防事業)

災害時用援護者関連施設への土砂被害を未然に防止(嘉間良地区急傾斜崩壊対策事業)

頻発する地滑り災害からの復旧(仲順地区地すべり対策事業、安里地区地すべり対策事業)

土砂災害警戒情報の提供

土砂災害防止法に基づく土砂災害(特別)警戒区域の指定

海岸

海岸被害を防除するとともに景観・環境に配慮した面的整備を実施(浜海岸、東江海岸)

国土保全と共に観光産業に資する海岸保全施設整備を実施(宇座海岸、北前海岸)

琉球諸島沿岸海岸保全基本計画の策定

共通

災害情報支援センターHP開設

統一河川情報システムの導入

携帯端末版「川の防災情報」の導入

防災・減災フォーラムの開催

その他の事業の（主要事業以外）概要

「河川事業」
リュウキュウアユの生息環境に配慮した川づくり

1) 事業概要

- 源河川では砂防ダムへの魚道の設置や落差工の改良など種々の取り組みを実施
- 源河川、奥川等の河川で稚仔魚の放流実施

2) 事業評価・効果

- ダム湖での陸封化は定着しているものの、近年ダム湖へパールダニオ等の移入種が侵入しており、ダム湖に生息する絶滅危惧種への影響が懸念されている。
- また、河川へのリュウキュウアユ復元に向けた取り組みが行われているものの定着に至っていない。河川横断工作物による回遊阻害、河川直接取水による河川環境悪化もこの要因と考えられる

源河川におけるリュウキュウアユの放流実績

ダム湖のリュウキュウアユ放流個体数と確認個体数の経年変化
出典：内閣府 沖縄総合事務局 資料

写真出典：沖縄県土木建築部河川

「河川事業」
小波津川

1) 事業概要

- 氾濫防御のため地域と一体となった川づくりを実施中

2) 事業評価・効果

- 平成 15 年度事業着手
- 都市化の進行による治水安全度低下に対応し、氾濫防御のため地域と一体となった川づくりを実施中

小波津川

小波津川中流部イメージ図

小波津川改修イメージ図
出典：「H19 沖縄県における水害・土砂災害対策等の当面の進め方」

その他の事業の（主要事業以外）概要

「河川事業」

名蔵川

1) 事業概要

- ・ 浸水被害の解消と、親水性や水性動植物に配慮した多自然型川づくりを進め、うるおいのある水辺空間を創出する

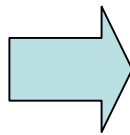
2) 事業評価・効果

- ・ 昭和 58 年度事業着手
- ・ 自然豊かな環境を残す等、河畔林を保全した多自然川づくりを推進中

整備前



整備後



出典:「H19 沖縄県における水害・土砂災害対策等の当面の進め方」

「河川事業」

安謝川

1) 事業概要

- ・ 治水安全度向上のため河川改修を実施

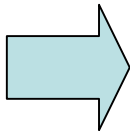
2) 事業評価・効果

- ・ 昭和 47 年度事業着手
- ・ 都市部を流れ、近年の集中豪雨等時に浸水被害が多発し、治水安全度向上のため河川改修を実施中

整備前



整備後



出典:「H19 沖縄県における水害・土砂災害対策等の当面の進め方」

その他の事業の（主要事業以外）概要

「河川事業」

河川浄化事業（報得川）

1) 事業概要

- 水質汚濁の激しい報得川にて水質改善を図るための河川浄化事業（浚渫）を実施

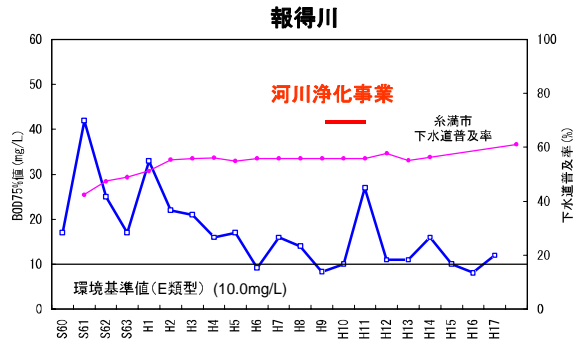
2) 事業評価・効果

- 平成9年度事業着手、平成11年度完了
- 河川水質は河川浄化事業の他、下水道整備等により改善傾向にあるものの環境基準値を満足するに至っていない



報得川(N0.21)付近

BOD75%値



「河川事業」

国場川（水に親しむ川づくり河川整備構想）

1) 事業概要

- 住民参加のワークショップを開催し、地域住民の協力を得ながら整備構想を策定する

2) 事業評価・効果

- 周辺住民の河川整備についての要望等をふまえ都市部における自然ふれあいの場・オアシス空間を創出する目的で策定し、整備を実施中



オープンカフェイメージ



緑道及び親水テラスイメージ

出典:「H19 重点施策」

その他の事業の（主要事業以外）概要

「河川事業」

河川・海岸自然再生事業

1) 事業概要

- ・ 平成 16 年度「やんばる河川・海岸自然再生協議会」設立
平成 18 年度解散
- ・ 平成 19 年度「奥川自然再生協議会」設立

2) 事業評価・効果

- ・ 地域が主体となった奥川の協議会にて自然再生の全体構想を検討中



奥川でのリュウキュウアユ放流 (H19.6.2)



奥川自然再生協議会の状況 (H19.11.02)



奥川現場視察 (H19. 9. 10)

「リュウキュウアユ」出典：沖縄県土木建築部河川課 HP
その他出典：沖縄県土木建築部河川課 HP

「河川事業」

水源地域ビジョン

1) 事業概要

- ・ 北部ダム統合管理事務所と関連市村を中心に、策定委員会を設置し検討

2) 事業評価・効果

- ・ 国管理ダムの所在市村で取り組みが進められ、ダム祭りを始め、ダム湖の利活用（自然観察船、カヌー体験）や、特産品のPRなど、各地域の特性に応じたテーマに基づく様々な取り組みが行われている



豊かな自然の中で開催される福地ダムまつり

第 1 回安波・普久川・辺野喜ダム
水源地域ビジョン策定委員会の様子



福地ダム・自然観察船



辺野喜ダム・マラソン大会



“花の里”づくりで
花を咲かせたさがり花

出典：「福地・新川ダム水源地域ビジョン」



福地ダムキャラクター
「バヌー」

新川ダムキャラクター
「アラリン」



羽地ダム・カヌー体験会



出典：内閣府 沖縄総合事務局北部ダム統合管理事務所 HP

その他の事業の（主要事業以外）概要

「砂防事業」

平良川砂防事業

1) 事業概要

- ・ 土砂災害に対する家屋、公共施設の保全、県道等の交通機能を確保し社会基盤の安定を図る

2) 事業評価・効果

- ・ 平成 11 年度事業着手、平成 16 年度完成
- ・ 土砂災害からの安全を確保するとともに、貯留型砂防ダム、荒廃地の緑化により赤土砂流出の抑制が図られている



「砂防事業」

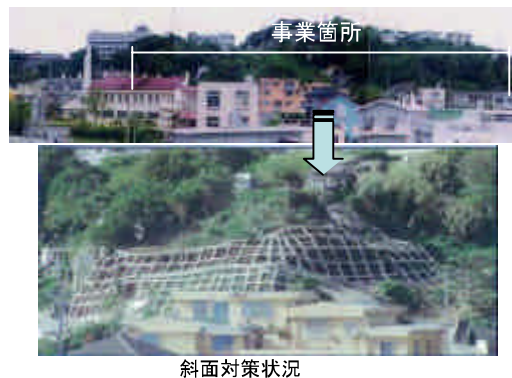
急傾斜地崩壊対策事業（嘉間良地区）

1) 事業概要

- ・ 土砂災害を未然に防ぐため法枠工による対策事業を実施

2) 事業評価・効果

- ・ 平成 14 年度事業着手、平成 17 年度完成
- ・ 斜面の整備により安定が図られ、地域の民生の安定に資することができた



その他の事業の（主要事業以外）概要

「砂防事業」（地すべり対策）

地すべり対策事業（仲順地区）

1) 事業概要

- 平成 10 年 10 月の豪雨により地すべり災害が発生した。再度の土砂災害を防止するため、法面等の対策工事を実施

2) 事業評価・効果

- 平成 10 年度事業着手、平成 17 年度完成
- 法面等の整備により安定が図られ、地域の民生の安定や村道の交通機能確保等に資することができた



「砂防事業」（地すべり対策）

地すべり対策事業（中城村安里地区）

1) 事業概要

- 平成 18 年 6 月に大規模な地すべりが発生し、村道・県道等が被害をうけたため、その対策事業を実施

2) 事業評価・効果

- 平成 18 年度事業着手
- 法枠工、抑止杭工等の施工により、平成 19 年 12 月 10 日付けで避難解除がなされた。引き続き対策工を実施



出典：「H19 沖縄県における水害・土砂災害対策等の当面の進め方」

その他の事業の（主要事業以外）概要

「砂防事業」

土砂災害警戒情報等の提供

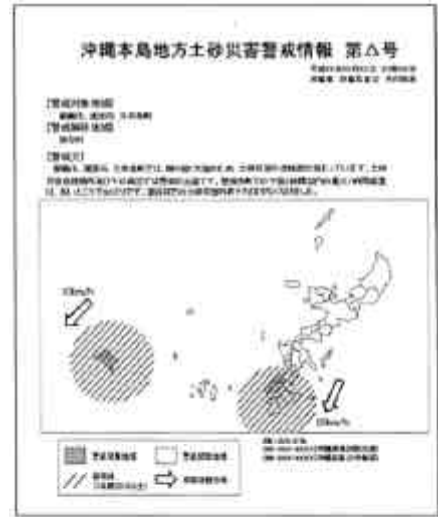
1) 事業概要

- ・ 沖縄県と気象台が共同で作成・発表する土砂災害の警戒情報市町村長が避難勧告等の災害応急対応を適時適切に行えるよう、また、住民の自主避難の判断等に利用できることを目的する

2) 事業評価・効果

- ・ 平成 18 年 4 月より発表を開始しているが、土砂災害警戒情報の発表が、必ずしも避難勧告へ直結していない

	延べ 発令回数	非難勧告の有無
H18	10	無
H19	28	H19.8.11～8.12 指示:那覇市長田 勧告:沖縄市仲宗根



沖縄本島土砂災害警戒情報イメージ図
出典: 沖縄県 HP

「砂防事業」

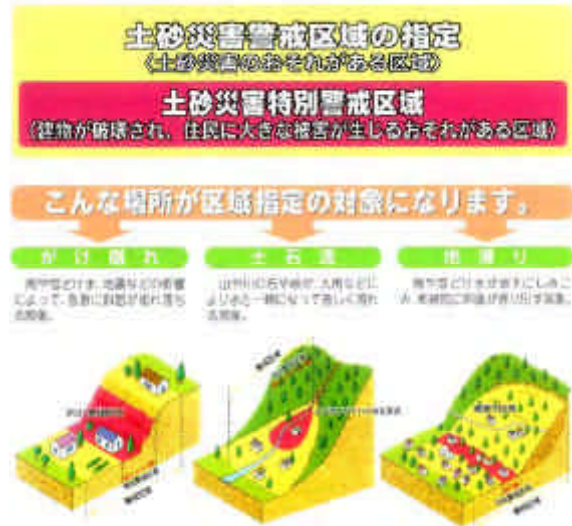
土砂災害防止法に基づく土砂災害（特別）警戒区域の指定

1) 事業概要

- ・ 土砂災害防止法に基づく土砂災害（特別）警戒区域の指定

2) 事業評価・効果

- ・ 土砂災害から生命を守るため、土砂災害（特別）警戒区域の指定に向けた説明会等の取り組みを行っているが、住民の土砂災害に対する認識を高めていく努力が必要



土砂災害警戒区域の指定
出典:「おきなわの川と海」(2006)

その他の事業の（主要事業以外）概要

「海岸事業」

浜海岸

1) 事業概要

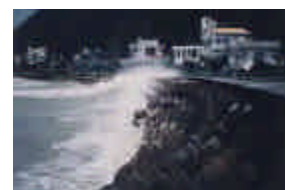
- ・ 高潮・波浪等による被害を防除することを目的とし、快適な海浜利用の増進を図るとともに景観・環境に配慮した面的整備を実施

2) 事業評価・効果

- ・ 平成13年度事業着手、平成17年度完成
- ・ 高潮・波浪等による被害から後背地を防護するとともに景観、利用にも配慮し、砂浜を創出した



背後地の飛沫被害(塩害)状況



台風18号の余波による越波状況
(平成11年9月24日撮影)

「海岸事業」

東江海岸

1) 事業概要

- ・ 高潮・波浪等による被害を防除することを目的とし、快適な海浜利用の増進を図るとともに景観・環境に配慮した面的整備を実施

2) 事業評価・効果

- ・ 平成13年度事業着手
- ・ 高潮・波浪等による被害から後背地を防護するとともに景観、利用にも配慮し、砂浜を創出するため事業実施中



台風21号による越波状況
(平成8年9月)



台風20号による越波状況
(平成2年9月)



整備中の状況(平成17年)
出典:「おきなわの川と海」(2006)

その他の事業の（主要事業以外）概要

「海岸事業」

宇座海岸

1) 事業概要

- ・ 国土保全と共に景観の形成並びに観光資源の質及び利便性の向上等のため緩傾斜護岸、養浜等の海岸保全施設等を整備

2) 事業評価・効果

- ・ 平成 13 年度事業着手、平成 17 年度完成
- ・ 国土保全を図るとともに、緩傾斜護岸、養浜等の海岸保全施設等を整備し、観光資源としての質及び利便性が向上した



宇座海岸

「海岸事業」

北前海岸

1) 事業概要

- ・ 国土保全と共に景観の形成並びに観光資源の質及び利便性の向上等のため緩傾斜護岸、養浜等の海岸保全施設等を整備

2) 事業評価・効果

- ・ 平成 8 年度環境整備事業着手、平成 12 年度完成
- ・ 事業実施により、国土保全とともに「人々が憩い、楽しみ、遊べる」安全で快適な海岸空間として創出され、「アラハビーチ」として親しまれている



北前海岸

アラハ公園(町整備)

その他の事業の（主要事業以外）概要

「海岸事業」

琉球諸島沿岸海岸保全基本計画

1) 事業概要

- 海岸法改正により国が定めた「海岸沿岸保全基本計画」に基づき策定

2) 事業評価・効果

- 平成 15 年 4 月策定
- 海岸法改正により国が定めた「海岸沿岸保全基本計画」に基づき平成 15 年 4 月に策定。策定後概ね 10 年間の海岸の保全と整備について定めている

琉球諸島沿岸海岸保全基本計画

-パンフレット-



出典:「琉球諸島沿岸海岸保全基本計画」(H15.04)

その他の事業の（主要事業以外）概要

「共通」

災害情報普及支援センターHP開設

1) 事業概要

- ・ 沖縄総合事務局による防災支援を行う

2) 事業評価・効果

- ・ 平成 16 年度開設。沖縄総合事務局による防災支援として、防災情報の収集・予測・発信等に関わる技術的支援及び助言、防災対策に関わる啓発活動をHPで広く一般に情報提供している



災害情報普及支援センターHP

<http://www.dc.ogb.go.jp/bousai/>

出典：災害情報普及支援センターHP

「共通」

統一河川情報システムの導入

1) 事業概要

- ・ 統一河川情報システムは、幅広い対象者に、分かり易く、使いやすい河川情報を迅速かつ安定して伝達することを目的として構築したシステムである

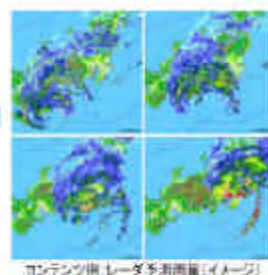
2) 事業評価・効果

- ・ 平成 17 年度導入し広く一般に情報提供を行っている。解りやすく、使いやすい河川情報を迅速かつ安定して伝達することを目的としてシステムを構築し一般に情報提供している

河川情報の検索



情報を受けた者の判断・行動



河川管理者、市町村長、
一般国民への情報伝達

出典：財団法人 河川情報センター 資料

「共通」

携帯端末版「川の防災情報」の導入

1) 事業概要

- ・ 全国の雨量・水位情報をリアルタイムで取得できる携帯版サイトを構築

2) 事業評価・効果

- ・ 平成19年度導入。全国の雨量・水位情報をリアルタイムで取得できる携帯版サイトを構築し広く一般に情報提供している

(携帯版)《川の防災情報》QRコード



パソコンから: <http://www.river.go.jp/>
携帯電話から: <http://i.river.go.jp>



携帯端末版「川の防災情報」の検索構造イメージ

出典: 財団法人 河川情報センター 資料

「共通」

防災・減災フォーラムの開催

1) 事業概要

- ・ 2007年には10月29日に「いざという時、逃げられますか?」をテーマに防災業務に携わる関係者や、福祉関係者、一般参加者等約300名が参加のもと「防災・減災フォーラム2007in沖縄」を開催

2) 事業評価・効果

- ・ フォーラムの定期的な実施により防災意識の啓発を広く一般に行っている



「防災・減災フォーラム2006in沖縄」
～地域防災を考える あなたの街は安全ですか～
開催状況(2006.08.11)



「防災・減災フォーラム2007in沖縄」開催状況